


## 1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」









項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。生産活動は、輸送機械が増加しているなど、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	
生産活動	供給面での制約などから自動車を中心に減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
設備投資	3年度は前年度を上回る見込み	3年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅は縮小	「上昇」超に転じる	
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある」

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、全体では横ばいの状況にある。業態別にみると、ドラッグストア販売、コンビニエンスストア販売は、内食・中食需要により食料品が好調であることから、前年を上回っている。百貨店販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年を下回っている。家電販売は、白物家電などが堅調であるものの、パソコンなどの需要に落ち着きが見られ、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも半導体不足の影響により、前年を下回っている。

（主なヒアリング結果）

- 家飲み需要が増えたことから、アルコール飲料が好調であるほか、10月は気温が高かったため、アイスクリームや冷凍食品が好調だった。（ドラッグストア）
- 中食需要により、引き続き総菜やチルド弁当などが堅調。（コンビニエンスストア）
- 緊急事態宣言中は休業や時間短縮営業により、売上げ、来店客数ともに前年比減となったが、10月の緊急事態宣言解除後は回復してきた。12月に入り、さらに回復している。（百貨店）
- 家事の効率化や時短需要により、高機能な白物家電が好調である一方、テレワークやオンライン授業での需要の落ち着きにより、パソコンは低調となっている。（家電量販店）
- 半導体不足による工場の稼働停止や、東南アジアからの部品供給の停滞により、供給面で影響が出たことから、納車が遅れている。足下、メーカーから入荷してくるようになり、登録台数が回復してきている。（自動車販売）
- 中食需要の高まりにより、総菜や冷凍食品などが好調。依然として衣料品が不調であるが、気温の低下に伴い、婦人服で外出着が売れている。（スーパー）

### ■ 生産活動 「持ち直している」

生産活動は、供給面の制約が緩和されつつあり、自動車などが増加していることから、全体では持ち直している。業種別にみると、電気機械は、スマートフォン向けなどの受注に弱い動きがみられることから、減少している。鉄鋼は、設備の稼働停止の影響などから、減少している。一方、化学は、建材向けや食品包装材向けなど、様々な分野で需要が堅調なことから、増加している。輸送機械は、自動車において、半導体不足による供給面の制約が緩和されつつあることから、増加している。汎用・生産用・業務用機械は、国内外で需要が持ち直していることから、増加している。

- 半導体不足により携帯電話メーカーの生産が伸びていないことから、スマートフォン向けなどの受注が減少している。（電気機械）
- 建材向けなどの需要は堅調であるものの、一部設備の稼働を停止したことにより、生産量が減少している。（鉄鋼）
- 新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いてきたインドや東南アジアでは、インフラ工事が再開しており、建材向け樹脂原料の需要が好調となっている。（化学）
- 半導体不足により部品の調達状況に応じた生産が続いているものの、その影響は徐々に緩和されつつあり、足下の生産水準は持ち直している。（自動車）
- 経済活動の再開に伴い、国内外で需要が持ち直していることから、高めの生産水準となっている。（汎用・生産用・業務用機械）

### ■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準と比べて低水準で推移しているものの、新規求人数が増加しているなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

- 11月から工場がフル稼働に戻り、人員は不足気味。特に技術スタッフの確保が厳しく、ハローワーク以外でも募集を行っている。（自動車）
- 生鮮食品の加工を行う人材は技術が必要なこともあり、募集をしても応募が少ない。（スーパー）
- 新規求人数について、製造業では自動車向け需要を中心に求人が引き続き増加しているほか、非製造業では新型コロナ感染者数の落ち着きや自治体などのキャンペーンもあり、飲食・宿泊業でも求人を行う動きが見られた。新規求職者は、ワクチン接種の進展などを背景に増加傾向にある。（公的機関）

■ **設備投資** 「3年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 製造業では、「情報通信機械」、「石油・石炭」などで減少するものの、「自動車」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「運輸・郵便」、「農林水産」などで増加するものの、「電気・ガス・水道」、「金融・保険」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 新型車対応のための設備投資。(自動車)
- 前年度の発電設備建設の反動。(電気・ガス・水道)

■ **企業収益** 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 製造業では、「その他の輸送用機械」、「自動車」などで減益となるものの、「情報通信機械」、「鉄鋼」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「建設」、「その他のサービス」などで減益となるものの、「小売」、「宿泊・飲食サービス」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『上昇』超に転じる」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、給与住宅が減少しているものの、持家、貸家が増加していることから、前年を上回っている。

■ **輸出** 「前年を上回る」

- 管内通関実績(円ベース)でみると、輸出は、自動車、船舶などが減少しているものの、鉄鋼、化学製品などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、北米、西欧で減少しているものの、アジア、中南米などで増加している。  
 なお、輸入は、原油及び粗油、石炭などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東、大洋州などで増加している。

3. 各県の総括判断

	前回 (3年10月判断)	今回 (4年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
鳥取県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に持ち直しの動きがみられる。
島根県	感染症の影響が残るなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	感染症の影響が残るなか、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある。生産活動は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している。
岡山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、弱含んでいる。
広島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。生産活動は、輸送機械が足下で増加しているなど、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
山口県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある。